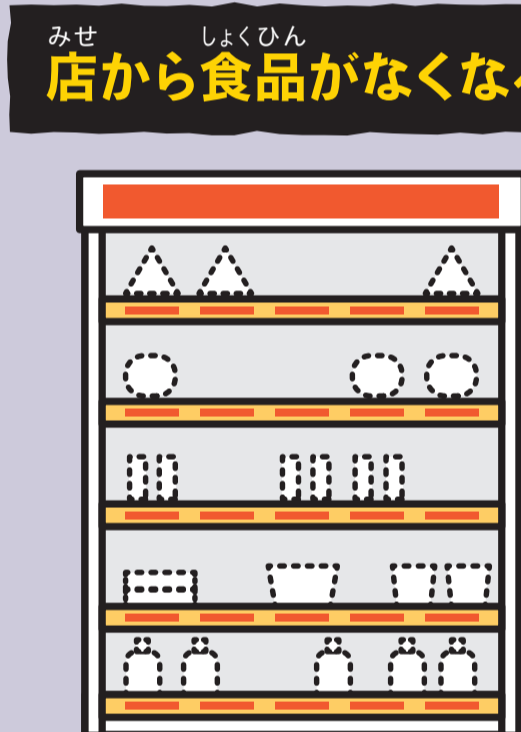


## 北見市大雪災害

2004年1月に北海道北見市で大雪が降って、このような被害がありました。



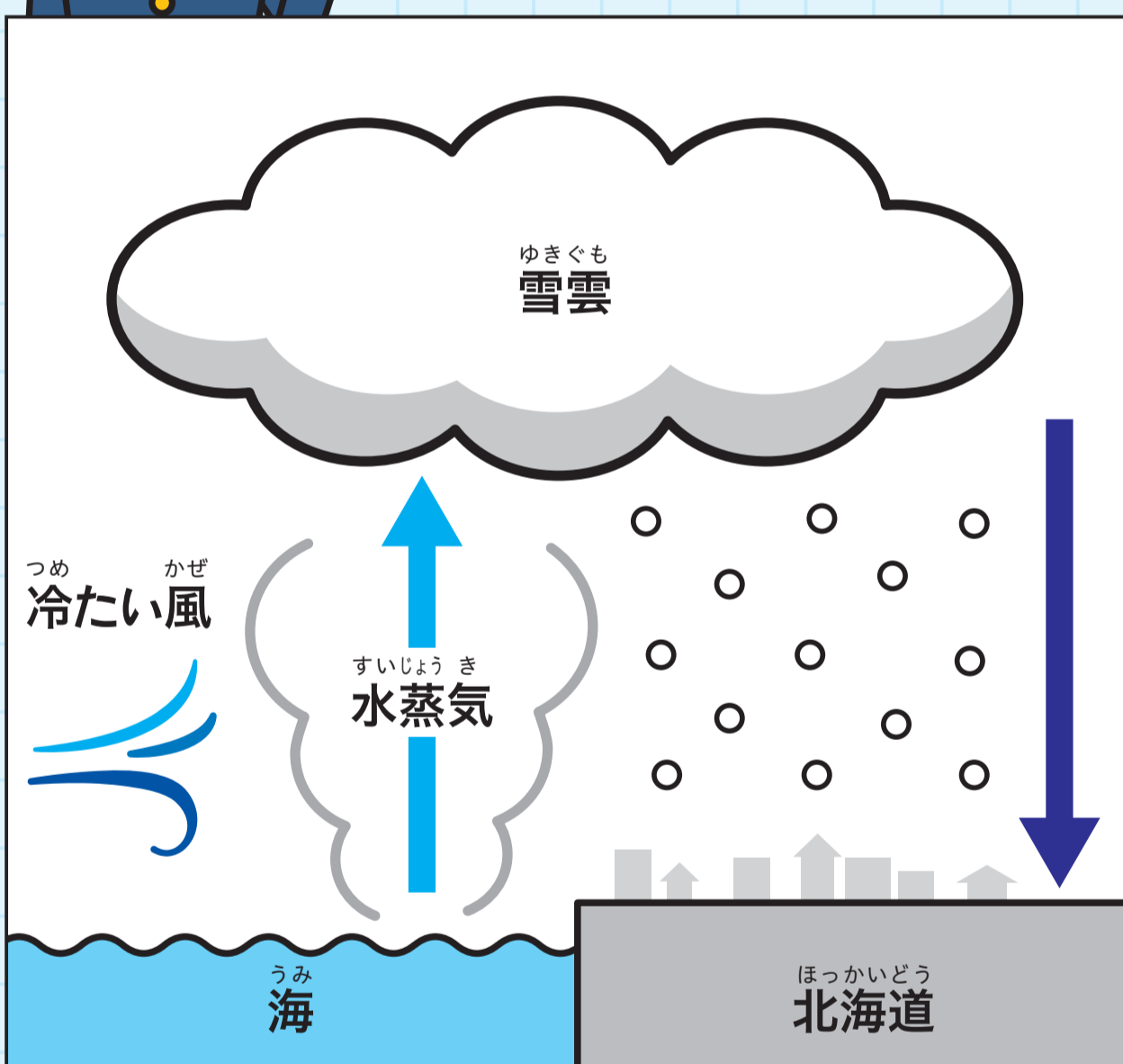
被害損額2億円!

## 雪雲の発生メカニズム

雪が降る原因を教えるね!



- ①北西から吹き出した冷たく、乾いた空気が、海に流れ込みます。
- ②海面付近で水蒸気を受けることで、雲が発生します。
- ③寒気が強く、海水温が高いほど、雪雲が発達します。
- ④その雪雲が雪を降らせます。



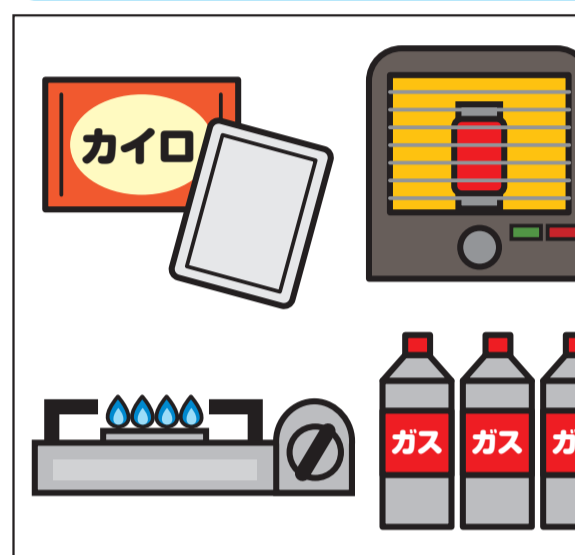
## 北見市大雪災害のような災害がまた起こるかも? そのために出来ること

非常食を準備しておこう



コンビニや道の駅等にも非常食が売っているので事前に用意しよう。

防寒グッズを用意しておこう



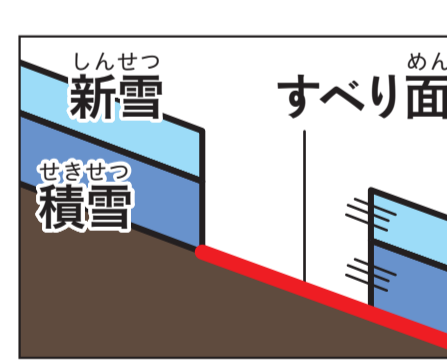
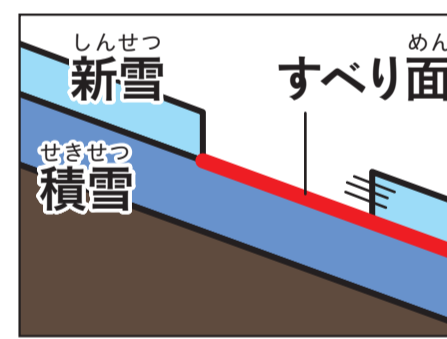
カイロなどの電気を使わず防寒できるものを用意しよう。

こまめに気象状況を確認しよう

気象庁などのHPを確認して雪害に備えよう。

## 大空町ではこんなことが考えられる?

藻琴山で雪崩が起こるかも!



こんな時どうする??

### 外出中に暴風雪に遭った時!

外出中に暴風雪が発生した場合は、雪で視界が奪われるため、周囲の危険に気づくのが遅れます。また、強い風により体温が奪われたり、まともに歩くのも困難になります。そのため、近くの公共施設やコンビニ等に避難し、安全を確保できるまで待機しよう。



### 除雪車が作業している時!

タイヤショベルが雪を押ししたり、除雪ロータリーが雪を飛ばしている際は、車道や歩道など一般車両や歩行者の近くで作業が行われます。運転席からは死角が多くあり、除排雪作業中の除雪車に近づくのは危険なので、近くによるのは避けよう。



### 気温が暖かくなった時!

屋根に積もった雪は、気温上昇などにより、少しずつ溶け始めます。このとき、雪は重みで少しずつ屋根からずり落ちます。屋根には大抵「雪止め」というものがありますが、雪止めから先端にかけての雪はやがて自然に落下するので注意しよう。



いぶりとうぶじしん  
**胆振東部地震**

ねんがつほっかいどういぶりちほうちゅうとうぶさいだいしんど  
 2018年9月に北海道胆振地方中東部で最大震度7の地震が起きて、このような被害がありました。

どしゃくず  
**土砂崩れ**



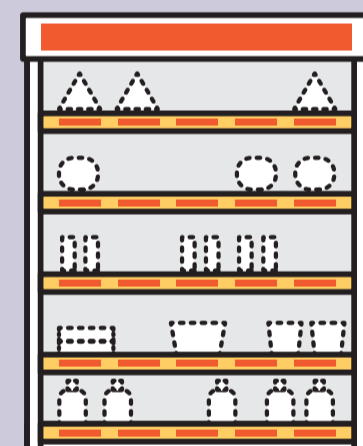
だいまほていでん  
**大規模停電**



つうしんしょうがい  
**通信障害**



みせしょくひん  
**店から食品がなくなる**



だんすい  
**断水**



くうこうへいさ  
**空港の閉鎖**



じしん  
**地震のメカニズム**

じしんおきげんいん  
 地震が起こる原因を教えるね!



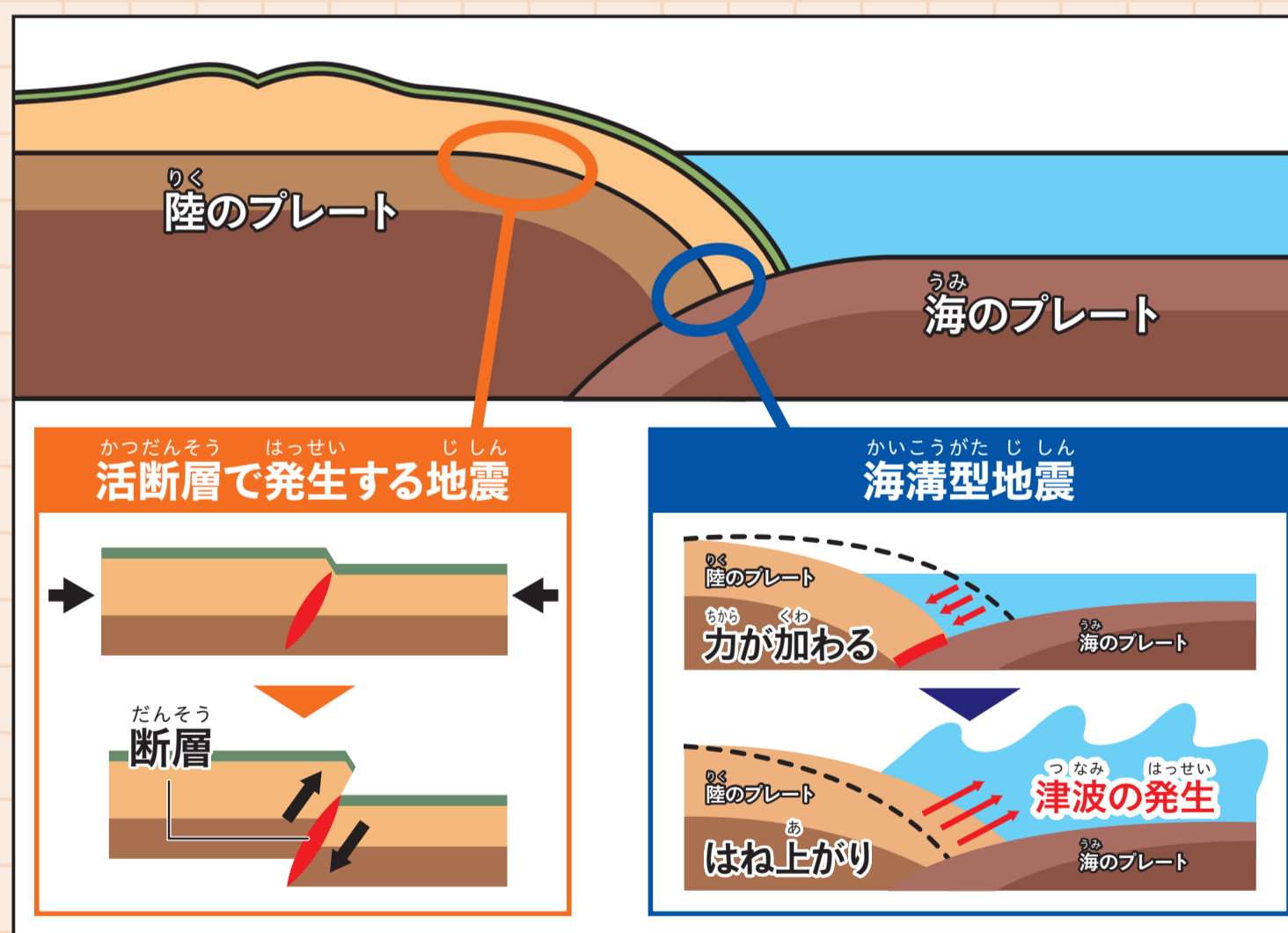
【活断層で発生する地震】

- ① 海のプレートの動きなどによって、陸のプレート内に力が加わります。
- ② プレート同士が押し合い続けていると、その表面にひびが入り、ズレ(断層)が生じます。
- ③ 断層が上下に動くことで、地震が発生します。

【海溝型地震】

- ① 海のプレートが陸のプレートの下へ沈み込みます。
- ② 陸のプレートの先も下に引きずり込まれます。
- ③ 陸のプレートが元に戻ろうとすると、地震が発生します。

※胆振東部地震は活断層で発生した地震です。



いぶりとうぶじしん  
**胆振東部地震のような災害がまた起こるかも?**  
**そのために出来ること** ✨

ひなんじよ  
**避難所はおうちの人とかくにん確認しておこう**



めんべつかいようしやうひなんめいせん  
 女満別B&G海洋センターは指定避難所になっているよ。

ていでんだんすいときやくだもの  
**停電や断水した時に役立つ物の作り方を覚えておこう**



だんすいみずいれたべつぽるとちゅうでんとう  
 断水時、水を入れたペットボトルと懐中電灯で簡易照明が作れるよ。

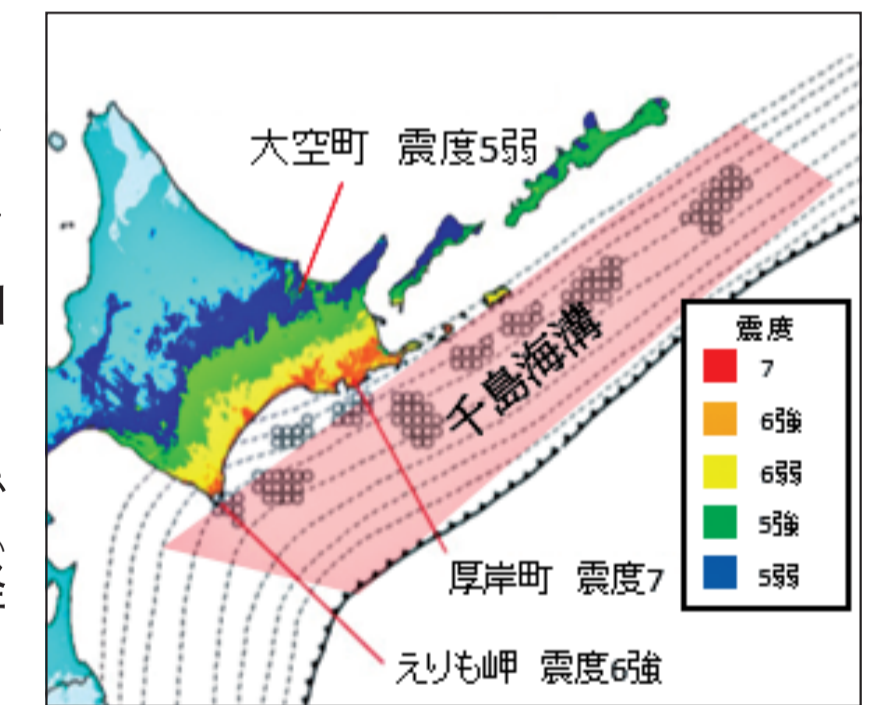


だんすいしじんだんごころしんぶんし  
 断水時、段ボール、ビニール袋、新聞紙で簡易トイレが作れるよ。

おおぞらちやう  
**大空町ではこんなことが考えられる?**

ふゆきよだいじしんお  
**冬に巨大地震が起きるかも!?**

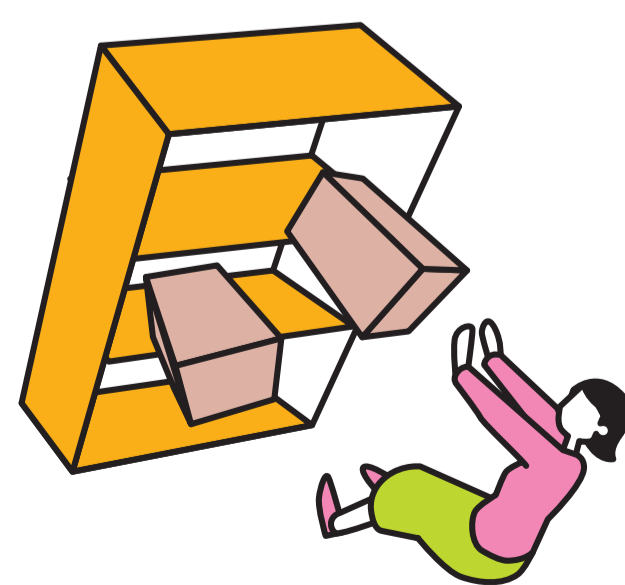
こんごにほんちしまいかうぞきよだいじしんいおおぞらちやう  
 今後日本では、千島海溝沿いの巨大地震(以下:千島海溝モデル)被害が想定されています。千島海溝モデルでは、大空町も震度5弱の揺れが生じると想定されています。また、地震の発生時期を冬季と想定した場合、雪の重さによって全壊棟数が増加したり、積雪によって避難速度が低下するため、日本で最大で約10万人の死者数が推計されました。今のうちに避難経路の確認や防災用品の準備をしておこう!



こんな時どうする??

いえ  
**家にいるときに地震が起きた場合**

かくちかしょうめいぐしたはなげんかんつえ  
 家具の近くや照明器具の下から離れ、玄関や机の下など、転倒落下物の少ないところへ移動してください。ドアや窓を開けて逃げ道を確認しましょう。火災の危険性もあるので、揺れが小さいとき、または揺れが収まったら、火の始末をしてください。



がいしゅつじ  
**外出時に地震が起きた場合**

かららつかぶつみまも  
 瓦やガラスなどの落下物から身を守るため、頭をかばん等で保護しましょう。ブロック塀などが崩れると押しつぶされることがあるので近づかないでください。公園などの広く安全な場所へ避難しましょう。



ひと  
**おうちのひと**

れんらくばあい  
**連絡がとれない場合**  
 地震などの災害の発生により、連絡がつながりにくい状況になったときは「災害用伝言ダイヤル」を活用しましょう。

おぼ  
**覚えておこう!**  
 さいがいようでんごん  
**災害用伝言ダイヤル「171」**

ろくおん  
**録音は171・1**

さいせい  
**再生は171・2**

